

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【公表番号】特表2015-518485(P2015-518485A)
 【公表日】平成27年7月2日(2015.7.2)
 【年通号数】公開・登録公報2015-042
 【出願番号】特願2015-507246(P2015-507246)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)
 A 6 1 P 3/04 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)
 C 1 2 N 15/113 (2010.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7105
 A 6 1 P 3/04
 A 6 1 P 43/00 1 0 5
 C 1 2 N 5/00 1 0 2
 C 1 2 N 15/00 Z N A G
 C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも1つのミトコンドリア脱共役剤の活性を調節するmiRNA剤を含む、細胞における呼吸鎖脱共役または組織における熱発生を調節するための薬学的組成物。

【請求項 2】

組織が、褐色脂肪、白色脂肪、皮下脂肪組織、肝臓、または筋肉である、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項 3】

少なくとも1つのミトコンドリア脱共役剤の活性または発現を調節するmiRNA剤を含む、それを必要とするヒト対象において体脂肪を低減するための薬学的組成物。

【請求項 4】

それを必要とするヒト対象が肥満である、請求項3に記載の薬学的組成物。

【請求項 5】

ミトコンドリア脱共役剤がUCP1またはUCP2である、請求項1~4のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】

miRNA剤が、hsa-mir-22、hsa-mir-22-3p、hsa-mir-22-5p、またはそれらのアゴミアもしくはアンタゴミアである、請求項1~5のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】

miRNA剤が標的指向部分に連結されている、請求項1~6のいずれか一項に記載の薬学的

組成物。

【請求項 8】

標的指向部分がアプタマーである、請求項7に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

標的指向部分がmiRNA剤を特定の細胞型または組織に送達する、請求項7または8に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

miRNA剤が、少なくとも1つのミトコンドリア脱共役剤のmRNAまたはプロモーター領域に直接結合する、請求項1~9のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

miRNA剤が、少なくとも1つのミトコンドリア脱共役剤のmRNAの5'UTRまたはコード配列に直接結合する、請求項1~10のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 12】

miRNA剤が、ミトコンドリア脱共役タンパク質の活性化因子または抑制因子の活性を調節する、請求項1~11のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 13】

ミトコンドリア脱共役タンパク質のmRNA発現、タンパク質発現、またはミトコンドリア脱共役活性が上方制御するための、請求項1~12のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 14】

細胞における少なくとも1つの熱発生制御因子の活性を調節する、アゴミアまたはアンタゴミア。

【請求項 15】

hsa-mir-22の、hsa-mir-22-3pの、またはhsa-mir-22-5pのアゴミアまたはアンタゴミアである、請求項14に記載のアゴミアまたはアンタゴミア。

【請求項 16】

標的指向部分に連結されている、請求項14または15に記載のアゴミアまたはアンタゴミア。

【請求項 17】

標的指向部分がアプタマーである、請求項16に記載のアゴミアまたはアンタゴミア。

【請求項 18】

標的指向部分がアゴミアまたはアンタゴミアを特定の細胞型または組織に送達する、請求項16または17に記載のアゴミアまたはアンタゴミア。

【請求項 19】

少なくとも1つのミトコンドリア脱共役剤のmRNAまたはプロモーター領域に直接結合する、請求項14~18のいずれか一項に記載のアゴミアまたはアンタゴミア。

【請求項 20】

少なくとも1つのミトコンドリア脱共役剤のmRNAの5'UTRまたはコード配列に直接結合する、請求項14~19のいずれか一項に記載のアゴミアまたはアンタゴミア。

【請求項 21】

miRNA剤がmiR-22-3pのアンタゴミアである、請求項3に記載の薬学的組成物。

【請求項 22】

治療のために選択されるヒト対象が、肥満に対する遺伝的素因または後成的素因を有する、請求項3に記載の薬学的組成物。